

継続事業 東ティモール

遠隔集落における生業と食の改善事業

— 女性の経済的エンパワメントと農業の多様化を通じて、貧困削減を目指す —



活動地域：エルメラ県アッサベ郡の4村内4集落
 事業期間：2024年3月～2027年2月（3年間）
 事業規模：当年度支出額68,702千円（総事業規模：およそ224,753千円）
 主な支援者：外務省、株式会社INPEX、一般社団法人アズビル山武財団、支援組織、個人

およそ **505** 人

対象となる村落貯蓄貸付組員とその家族の人数

2,697 人

貯水タンクの水を利用する住民の人数

114 人

登録された組員の数（うち女性72人）



課題

首都ディリから南西45キロに位置するエルメラ県アッサベ郡は、県の中心部からさらに離れた山岳遠隔地にあり、住民の大多数が零細農家で、貧困に苦しむ農村地域です。同地の農業は自給自足に留まり、また、近年の気候変動とそれに伴う災害の多発により農業生産性は安定せず、農民世帯の生業も安定していません。そのため、雨期の天水に頼った穀物の生産だけでなく、農業を多様化し、年間を通じ作物が収穫できる環境への改善が求められています。また、東ティモールは、栄養失調の割合が世界で最も高い国の一つとされ、食糧の不足やその入手の難しさ、栄養や衛生に関する知識の欠如、そして、女性や子どもへの配慮の欠如などの課題を抱えています。

活動内容

本年度は、1) 生業手段の多様化と収入創出、2) 女性の経済的エンパワメントの促進に向けての取り組みを実施。1) では、貯水タンクの建設や点滴灌漑用水設備の敷設を通じて、雨期の天水頼りの自家消費用の穀物栽培中心の農業から、乾期の野菜栽培を可能とする農業への転換を促進しました。また、農民を市場につなぎ、マーケティング戦略の策定を支援。野菜の収穫・販売が農民の生業手段の1つとして加わりました。域内での野菜販売が優先される傾向がある一方で、今後の野菜の生産拡大を見据えれば、域内の市場規模は小さく、持続的な収益向上の面でも、より大きな市場へのアクセスが求められるため、改めて市場のニーズ調査・分析を行い、販売戦略を再構築していきます。2) では、村落貯蓄貸付組合の活動を通じ、織物やコーヒー等の販売による小規模ビジネスの立ち上げ、子どもの学費や生活必需品の購入等、女性が家計に良い影響を与える機会を創出しました。その一方で、農民グループの活動においては、男女メンバー間の作業の役割分担や女性メンバーのリーダーシップの発揮等、人々の行動変容の面で課題が残りました。次年度以降、女性がより積極的に活動できる環境作りを強化していきます。

担当者の声



伊藤洋子（現地統括）

私たちの活動地アッサベは、山の中にあり、東ティモールの中でも特に美しい場所ですが、かなりの遠隔地です。頻繁に停電し、インターネットも使えなくなったり、雨期には土砂崩れや豪雨による川の増水で道が寸断されたりと、生活するにはとても大変な場所です。そのような厳しい環境にもかかわらず、フィールドスタッフたちは、アッサベからさらに奥地にある集落まで住民を支援するために奮闘しています。また、活動に参加する村落貯蓄貸付組合や農民グループのメンバーたちも、貯蓄をして小規模ビジネスを始めたり、野菜栽培をして売って収入を得たりと、自分たちの生活状況を改善するために一生懸命がんばっています。東ティモールの皆さんのがんばりをこれからも応援してください。